昭和59年　第910号
8月5日

市報 にいがた

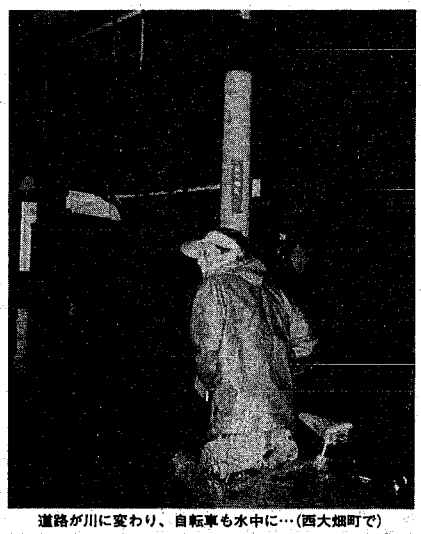
市の人口
前月比
人口 462,995(+200)
男 226,607(+88)
女 236,388(+112)
世帯数 150,495(+164)
59年6月末現在

発行日 毎週日曜日
発行所 新潟市役所
新潟市西堀通6番町866
電話 (28)1000
編集 企画部広報課
印刷所 ㈱第一印刷所

7・18 集中豪雨で浸水被害

床上719戸、床下2,985戸

七月十六日夕方、新潟市は、新潟気象台開設（大正三年）以来二番目の最大一時間雨量五二㎜の集中豪雨に襲われました。この大雨による被害は、床上浸水七百十九戸、床下浸水二千九百八十五戸（七月末現在）にもおよび、道路も各地で冠水し、寸断されました。床上浸水は、特に山の下、入船、中央地区に集中しました。市では、各ポンプ場をフル回転させて排水するとともに、浸水家屋の調査、避難場所の指定（桃山小）、道路や排水施設などの破損個所の復旧――などを行いました。翌十七日からは、特別態勢で、浸水家屋の消毒、ごみ収集、し尿のくみ取りなどに当たりました。被災された方々のために、見舞金や税の軽減など、各種制度を運用し、救済に当たっています。



道路が川に変わり、自転車も水中に…（西大畑町で）

大雨のたびに「都市は雨に弱い」という言葉をよく耳にします。これは、道路舗装や住宅の増加により、空き地が少なくなって雨水が地中へ浸透しにくくなり、大雨が降るとたちまち水があふれることを指摘した言葉です。

新潟市も例外ではなく、今回、市の下水道速設計画雨量（最大一時間雨量三二㎜）を大きく上回る最大五二㎜もの集中豪雨に襲われてポンプ場の排水能力が追いつかなかったこともあって、各地で水があふれました。

市では今回の集中豪雨を教訓に、学校など公共施設内に地下貯水槽を設け、一時的に大量に降る雨が一度に排水路に流れ込まないように調整する方法や、降った雨をできるだけ多く地中に浸透できるように、透水性アスファルトによる道路舗装の研究を進めるなど、今後も浸水防止のために施設の見直しを行っていく予定です。

雨水ますに〝ごみ〟がたまると水があふれる原因にもなります。ふだんから、自宅前の路上清掃と雨水ますのごみ除去をお願いします。

過去30年間の最大1時間雨量（市内）

順位	雨量(mm)	観測年月日	備考	順位	雨量(mm)	観測年月日	備考
1	53.8	昭和42・8・29	羽越水害2日目	6	38.9	昭和33・7・24	台風11号大風水害
2	52.0	〃 59・7・16	7・16豪雨(今回)	7	37.5	〃 46・7・17	
3	49.2	〃 39・8・9		8	37.3	〃 41・8・19	
4	48.8	〃 42・8・28	羽越水害1日目	9	37.0	〃 43・8・2	
5	44.0	〃 50・10・12	10・12水害	10	37.0	〃 46・9・24	

新潟まつり

8月7・8・9日に

7日　（夜）大民謡流し
　　（東会場、中央会場）
8日　（昼）まつり行列
　　（夜）大民謡流し
　　（中央会場）
9日　（昼）まつり行列
　　（〃）水上渡御
　　（夜）花火大会

※2・3面に新潟まつり特集

原爆死没者の慰霊、平和祈念の黙とうを！

今年、原爆被爆三十九周年を迎えます。

広島県では、八月六日の原爆投下時刻午前八時十五分に、長崎県では八月九日の同午前十一時二分に、それぞれ死没された方々のめい福と恒久平和を祈念し、一分間の黙とうをささげます。

市民の皆さんも黙とうをささげるようお願いします。

読者の皆さんへ

紙面の都合により「後悔先に立たず」「新潟の自然」「健康一口メモ」「生き生き67万時間」「民生委員を紹介」を休みます。

ごみ・し尿

ごみステーションに出された量の山

浸水地域を最優先に、ごみ収集車、バキュームカーを総動員。排出されたごみの量は四百七十三㌧、くみ取り戸数は二千五百三十五戸でした。

被災者の皆さんへ

次の各種救済制度がありますので、お知らせします。

災害見舞金

一般住宅の床上浸水世帯に見舞金が支給されます。

税金

①雑損控除で市・県民税、所得税を減額

一般的には、住宅や家財の損失金額が合計所得金額の一〇％を超えた場合、その超えた額が所得金額から差し引かれます。

※損害額の明細書と修繕費などの領収書を、確定申告まで大切に保管して下さい。

②市民税の減免

その年の合計所得金額の見積り額から損害額を差し引いた額が、前年の合計所得金額より三〇％以上減少する場合、市民税が段階的に軽減または免除されます。ただし、前年の合計所得金額が四百万円を超える人は除かれます。

③所得税の減免

住宅や家財について、その価額の五〇％以上の損害を受け、しかもその年の合計所得金額が六百万円以下の場合、所得税が軽減または免除されます。

問い合わせ　①と③については新潟税務署（☎29―二一五一）、②については市民税課へ。

国民健康保険

保険料の納入が困難になった人は、国民健康保険課にご相談下さい。

国民年金

強制加入者で、保険料を納めることが困難な場合、保険料が免除される制度があります。詳しくは、国民年金課、または各地区事務所へご相談下さい。

災害融資制度

◉住宅貸付　母子、寡婦世帯を対象に、年利三％で被害程度に応じ最高百二十万円まで貸し付け。申し込みは福祉課へ。

◉低所得世帯更生資金　①災害援護資金（貸付額六十万円まで）②住宅資金（同九十万円まで）、いずれも年利三％。申し込みは地区民生委員または市社会福祉協議会へ。

◉災害対策資金　中小企業の従業員（床上浸水）を対象に、年利六％で二十万円まで貸し付け。申し込みは労働金庫本店（☎28―三四一一）同東新潟支店（☎41―一三三二）同山の下支店（☎73―六一八一）へ。

中小企業水害融資相談室

被災した商工業者を対象に、商業観光課内に開設。相談室では、既存の制度の活用で対応し、返済条件の変更、増額借り入れなどの相談に応じます。

被災証明書の発行

各種保険などの請求の際必要になる被災証明書は、次のところで発行しています。

一般住宅……市民課・各地区事務所、商店……商業観光課、工場……工業振興課

航空測量にご協力を！

道路台帳整備のため、今月から全地域で航空測量を始めます。このために、皆さんのお宅の敷地内に標識を設置するなどで、立ち入ることがあります。その際は、ご協力下さいますようお願いいたします。職員は必ず「身分証明書」を所持していますので、不審のときは提示を求めて下さい。

問い合わせ　道路課（内線四〇五）へ

市民の意見を聴く会

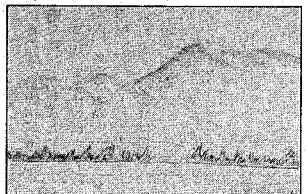
バス運賃の改訂

新潟交通㈱から①自家用車とミニバイク利用者の増加による乗客の減少②過疎地の人口減少による乗客の減少③人件費の上昇――を理由に、平均9.4％のバス運賃改訂申請を行うとの通知がありました。「市消費者条例」により市民の意見を聴く会を開催します。

意見を述べようとする人は、お申し込み下さい。

日時　8月21日午後1時半～4時
会場　中央公民館
申し込み　8月15日（必着）までに、はがきに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入し市消費生活センター（〒951西堀通6―866☎28―8100）へ ※申し込み多数のときは抽選します。傍聴を希望する人は当日会場へ（希望者多数のとき傍聴できないときもあります）

私の散歩道 ㊸



女池から鳥屋野潟へ

旧女池村は、東西に約四㌔という一戸並びの農村であった。それが昭和四十年ころから、市街化の道をたどり、現在小学校二、中学校二、高校一という教育の村となった。いや村ではない。立派な市街地である。

この部落の南に新潟バイパスが走っている。ガードを通り抜けると鳥屋野潟である。

昔の鳥屋野潟は風光明美そのもので、その水は飲料水として使われていたほどである。

一日も早く清潔な鳥屋野潟にしてほしい。

逢坂　正男（72歳、女池二）

電話案内

市役所	28―1000
教育委員会	25―1000
体育課	67―1821
野球場・テニスコートの申し込み	66―8111
火災の場所を知りたいとき	24―1111
市民病院	41―5151
園芸センター	86―1034
東保健所	43―5311
石山地区保健センター	86―4450
鳥屋野地区保健センター	85―2373
北地区保健センター	59―7332
西保健所	66―5171
西地区保健センター	62―3405
坂井輪地区保健センター	60―3255
市医師会休日急患診療センター	31―4135
県歯科医師会休日歯科診療センター	83―3030